

令和元年度 事業報告

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

本年は、理事会主導で学会の活性化へ繋げるため、学会の直面している重要な課題を解決すべく特任理事を新たに置くこととし、男女共同参画、学会連携、国際会議について強力に推進する体制を構築した。併せて公益法人としての適正な法人運営のため、必要な定款改訂を実施した。

学術講演会において、前年度 MSJ フェロー称号受賞者によるフェロー講演を初めて実施した。研究者の体系的な研究成果の一連の報告がなされ、大変盛況であった。またポスター講演賞では、学生会員のみならず、企業に属する若手研究者にも対象を広げて今回から授賞を行った。熱心な議論で盛り上がり学術講演会の活性化へつなげることができた。企業展示にも力を入れ、企業と参加者をつなぐ重要な情報交換の場を設けることができた。また若手研究者の論文誌への投稿を促す機会として、MSJ 論文奨励賞による表彰を継続実施した。

新役員体制に移行後も、副会長(運営戦略担当)を中心に広告タスクフォースを立ち上げ、広告代理店との密接な連携により、学会報まぐね への投稿勧誘を積極的に実施した。多数の広告掲載・情報提供へつなげることができ、財政健全化に資する活動として推進することができた。

その他、論文誌(JMSJ)および論文特集号(TMSJ)の電子化や、学術講演会概要集の Web 配信などによる経費削減を継続して進めた。新型コロナの影響のため、理事会や一部の委員会をオンライン会議により試行実施し、交通費の削減のみならず、担当者間の密接な連携にも寄与できる手段であることを確認した。

I 事業の状況

1. 研究発表会、講演会等の開催 (定款4条1号)

1. 1 学術講演会及びシンポジウム

本年度は、研究成果の発表・討論の場として第43回学術講演会を主催した。

◎第43回学術講演会

期日:	令和元年9月25日(水)～27日(金)
会場:	京都大学吉田キャンパス(京都府)
実行委員長:	小野輝男(京都大学)
講演件数:	286件(うちポスター講演63件)
セッション数:	31
参加者数:	544名

※シンポジウム一覧

- 1) “Symposium on research trends in permanent magnet” 参加者：100名
- 2) “Fundamental theory and application of magnetics of motor drive system for electrical vehicle” 参加者：53名
- 3) “Evolutions of Spintronics Opened up by Topology” 参加者：60名
- 4) “Recent progress of non-destructive measurement and imaging by highly sensitive magnetic field detection techniques” 参加者：80名
- 5) “New measurement approaches to magnetics” 参加者：60名
- 6) “Innovative trials for New Spin Computing” 参加者：60名

◎ポスター講演賞

優秀な講演を行った登壇者に対して「ポスター講演賞」の授与を行った。

- ・ 25pPS-15 石橋未央（京都大学）
「人工反強磁性体中を伝播するスピン波の非相反的な周波数シフト」
- ・ 25pPS-17 池淵徹也（京都大学）
「単結晶 NiO 薄膜におけるスピン流伝送の結晶配向依存性」
- ・ 25pPS-24 笠谷雄一（日本大学）
「GdFeCo フェリ磁性体合金における全光型磁化反転交番誘起の異常ホール効果による電氣的検出」
- ・ 26aPS-14 市川心人（TDK）
「反応性スパッタ法による高品位 MgAl₂O₄ バリア強磁性トンネル接合」
- ・ 26aPS-21 堀 洋祐（NHK 放送技術研究所）
「記録素子を一体化形成した磁性細線メモリ素子の試作と磁気光学評価」
- ・ 26aPS-22 磯上慎二（物質・材料研究機構）
「負のスピン分極率を有する窒化鉄ヘテロ接合のスピンホール磁気抵抗効果と電流誘起スピン軌道トルク有効磁場の温度依存性」

◎企業展示の充実

副会長（運営戦略担当）を中心とした広告タスクフォースの主導の下で、学術講演会における企業展示勧誘を積極的に実施した。その結果、今年の学術講演会での出展企業数を上回り、参加者への情報提供・交流の場として、有効に活用することができた。

1. 2 研究会

第 223 回から 227 回までの 5 回の研究会を下記の通り企画・開催した。

- 1) 第 223 回研究会 「磁性分野におけるマテリアルズインフォマティクスの現状」
期日：令和元年 5 月 21 日（火）
会場：中央大学駿河台記念館（東京都）
参加者：28 名
- 2) 第 224 回研究会「磁気キャパシタンス効果の新展開」
期日：令和元年 7 月 29 日（月）
会場：中央大学駿河台記念館（東京都）
参加者：28 名
- 3) 第 225 回研究会／第 51 回強磁場応用専門研究会
／第 3 回バイオマグネティックス専門研究会
「超伝導応用最前線」
期日：令和元年 11 月 15 日（金）
会場：中央大学駿河台記念館（東京都）
参加者：11 名
- 4) 第 226 回研究会／第 74 回スピントロニクス専門研究会
「スピン × センサ × IoT」
期日：令和 2 年 1 月 17 日（金）
会場：東京工業大学キャンパスイノベーションセンター（東京都）
参加者：60 名
- 5) 第 227 回研究会／第 67 回化合物専門研究会
「X 線とレーザーの融合による磁性ダイナミクス」
新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期

1. 3 講習会、公開講座

初等磁気工学講座、サマースクール、公開講演会を開催した。

◎第 24 回初等磁気工学講座

期日：令和元年 6 月 18 日（火）
会場：中央大学駿河台記念館（東京都）
参加者：32 名

◎第 42 回サマースクール

期日：令和元年 6 月 19 日（水）～21 日（金）
会場：中央大学駿河台記念館（東京都）
参加者：42 名
公益財団法人加藤科学振興会 平成 31 年度研究集会助成金を受けて実施

◎第 27 回公開講演会「磁石の不思議な世界－聞いて、さわって、体験しよう－」

期日： 令和元年 9 月 28 日（土）

会場： 京都大学宇治キャンパス

参加者： 児童 35 名

1. 4 専門研究会

本年度はナノマグネティックス専門研究会、スピントロニクス専門研究会（旧称：スピ
ンエレクトロニクス専門研究会）、化合物新磁性材料専門研究会、強磁場応用専門研究会、
光機能磁性デバイス・材料専門研究会、エネルギーマグネティックス専門研究会、バイオ
マグネティックス専門研究会、磁気センサ専門研究会を下記の通り開催した。

1) ナノマグネティックス専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 85 回	令和元年 5 月 31 日	東京大学 本郷キャンパス	11 名
第 86 回	令和元年 7 月 9 日	東京大学 理学部化学本館	26 名
第 87 回	令和元年 9 月 27 日	京都大学 吉田キャンパス	60 名
第 88 回	令和元年 10 月 17 日-18 日	九州大学 西新プラザ	60 名
第 89 回	令和元年 11 月 29 日	中央大学駿河台記念館	23 名

2) スピントロニクス専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 72 回	令和元年 6 月 28 日	中央大学駿河台記念館	31 名
第 73 回	令和元年 11 月 22 日	中央大学駿河台記念館	37 名
第 74 回	令和 2 年 1 月 17 日	東京工業大学 キャンパスイノベーションセンター	60 名
第 75 回	延期	-	-

3) 化合物新磁性材料専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 66 回	令和元年 6 月 25 日	日本大学 駿河台キャンパス	13 名
第 67 回	延期	-	-

4) 強磁場応用専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 51 回	令和元年 11 月 15 日	中央大学駿河台記念館	11 名
第 52 回	令和元年 12 月 2 日	日本大学 駿河台キャンパス	46 名

第 53 回	令和元年 12 月 16 日	大阪大学	14 名
第 54 回	令和 2 年 3 月 27 日	WEB 開催	11 名

5) 光機能磁性デバイス・材料専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 39 回	令和元年 9 月 27 日	京都大学 吉田キャンパス	60 名
第 40 回	令和元年 10 月 11 日	奈良商工会議所	10 名
第 41 回	令和 2 年 1 月 31 日	長岡技術科学大学 東京サテライトキャンパス	15 名

6) エネルギーマグネティックス専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 11 回	令和元年 8 月 20 日	長崎大学 文京キャンパス	114 名
第 12 回	令和元年 9 月 26 日	京都大学 吉田キャンパス	55 名

7) バイオマグネティックス専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 3 回	令和元年 11 月 15 日	中央大学駿河台記念館	11 名
第 4 回	令和元年 12 月 16 日	連合会館	34 名

8) 磁気センサ専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 3 回	令和元年 9 月 26 日	京都大学 吉田キャンパス	80 名

1. 5 国際会議の主催、共催

本年度は、下記の会議を協賛した。

1) 第 15 回スパッタリングおよびプラズマプロセスに関する国際シンポジウム

(公社)日本表面真空学会
金沢工業大学扇が丘キャンパス 2019年6月11日(火)～14日(金)

2) Magnetism and Optics Research International Symposium 2019 (MORIS 2019)

日本学術振興会 アモルファス・ナノ材料と応用第 147 委員会
Charles University 2019年6月23日(日)～26日(水)

3) International Symposium on Imaging, Sensing, and Optical Memory 2019
(ISOM'19) ISOM'19 組織委員会
朱鷺メッセ 2019年10月20日(日)~23日(水)

1. 6 国際会議の準備

前年度から引き続き、下記の国際会議の準備を進めた。

- Joint IcAUMS-ISAMMA2020 (沖縄コンベンションセンター)2020年12月14~17日
※準備委員会から移行した実行委員会を中心に、開催に関する検討を進めた。
- INTERMAG 2023 (仙台国際センター) 2023年5月15~19日
※開催に向けて、IEEE との MOU 締結作業を進めた。

1. 7 AUMS (Asian Union of Magnetics Societies)との連携

2019年8月23日(金)に Immanuel Kant Baltic Federal University (Kaliningrad, Russia) において、第21回 AUMS Council meeting が開催された。MSJ より AUMS のメンバーとして3名 (AUMS 会長: 高梨弘毅前会長、委員: 中野正基理事、柳原英人理事)、AUMS Secretary として竹村泰司前理事、observer として中川活二会長の計5名が参加した。Joint IcAUMS-ISAMMA2020 に関する計画の説明を行った。

2. 学会誌の刊行（定款4条2号）

Journal of the Magnetism Society of Japan (JMSJ) を43巻3号より44巻2号まで計6回、日本磁気学会論文特集号を3巻1号より3巻2号まで計2回、また会報「まぐね」を14巻2号より15巻1号の計6回発行した。「JMSJ」は論文に特化し、英文論文を掲載した。「日本磁気学会論文特集号」は学術講演会での講演に基づいた論文で、和文、英文によらない論文を掲載した。また、学生の研究と論文投稿を奨励するため、これら論文誌の各号毎に MSJ 論文奨励賞授賞の選考を行った。「まぐね」は論説、解説、特集記事、連載講座など寄稿記事を中心に編集した。また、JMSJ の SCOPUS への登録を完了した。

2. 1 学会誌 Journal of the Magnetism Society of Japan

巻—号	発行年月日	内容（詳細は各号の目次参照）
43-3	令和元年5月1日	論文5件、総ページ数 28
43-4	令和元年7月1日	論文3件、総ページ数 21
43-5	令和元年9月1日	論文2件、総ページ数 14
43-6	令和元年11月1日	論文5件、総ページ数 28
44-1	令和2年1月1日	論文5件、総ページ数 25
44-2	令和2年3月1日	論文5件、総ページ数 26

*印刷冊子ではなく、Web 掲載とし、12月に1巻分をまとめた CD を配布。

2. 2 日本磁気学会論文特集号

Transaction of the Magnetism Society of Japan -Special Issues-

巻—号	発行年月日	内容（詳細は各号の目次参照）
3-1	令和元年5月1日	論文22件、総ページ数 119
3-2	令和元年9月1日	論文1件、総ページ数 6

*印刷冊子ではなく、Web 掲載とし、12月に1巻分をまとめた CD を配布。

2. 3 MSJ 論文奨励賞の授与

掲載論文発行月	掲載誌、受賞部門、受賞者所属および氏名
令和元年5月	Journal of the Magnetism Society of Japan 43-3 <修士課程の部> 信州大学 秋山知輝 中央大学 芹澤伽那 日本磁気学会論文特集号 3-1 <修士課程の部> 日本大学 苗木俊樹 山形大学 佐藤睦規 東北大学 伊藤亘輝 東北大学 水穴裕真 東北大学 羽根吉紀

令和元年 11 月	Journal of the Magnetism Society of Japan 43-6 <修士課程の部> 信州大学 遠藤 俊
令和 2 年 1 月	Journal of the Magnetism Society of Japan 44-1 <博士課程の部> 京都大学 西村幸恵
令和 2 年 3 月	Journal of the Magnetism Society of Japan 44-2 <博士課程の部> 九州大学 牙 暁瑞 <修士課程の部> 秋田大学 柳沢敏輝

2. 4 会報誌「まぐね」

巻—号	発行年月日	内容(詳細は各号の目次参照)
14-2	平成 31 年 4 月 1 日	論説「希土類-鉄時代の到来」(入山恭彦) 特集「航空機産業分野における磁気技術」 解説 2 件、トピックス 3 件 初等連載講座 1 件 総ページ数 50
14-3	令和元年 6 月 1 日	論説「脳磁計の開発: 磁束量子、零位法、不確かさ」 (上原 弦) 特集「放射光・中性子線で見る磁気」 解説 2 件、トピックス 2 件 初等連載講座 2 件 磁気研究よもやま話 1 件 総ページ数 60
14-4	令和元年 8 月 1 日	会長挨拶 (中川活二) 論説「磁気センシング研究を振り返って」(圓福敬二) 特集「心臓磁界計測の最近の動向」 解説 2 件、トピックス 3 件 初等連載講座 1 件 新技術・新製品 1 件 総ページ数 54
14-5	令和元年 10 月 1 日	論説「Givord 先生の思い出」(小林久理眞) 特集「IoT/IoH 時代に向けた磁気抵抗デバイスの新展開」 解説 2 件、トピックス 2 件 初等連載講座 1 件 磁気研究よもやま話 1 件 総ページ数 58
14-6	令和元年 12 月 1 日	令和元年度 日本磁気学会授賞紹介 論説「創造力」の前に「想像力」(早乙女英夫) 特集「ニューロデバイスの研究最前線」

		解説 1 件、トピックス 4 件 初等連載講座 1 件 総ページ数 84
15-1	令和 2 年 2 月 1 日	論説「磁気学会と私」(宝野和博) 特集「超低消費電力磁気メモリの開発最前線」 解説 1 件、トピックス 4 件 初等連載講座 1 件 磁気研究よもやま話 1 件 総ページ数 78

昨年度より、副会長(運営戦略担当)を中心に広告タスクフォースを立ち上げ、広告代理店と密接に協力して学会報まぐねへの広告投稿勧誘を積極的に継続実施した。広告出稿企業のすそ野を広げることができ、まぐねの魅力向上につながった。

3. 研究および調査の実施(定款4条3号)

3. 1 技術情報サービス等による情報提供

磁気の学理および応用に関する研究領域における最先端情報の調査をすすめ、技術情報サービス(No.165~172)やメールマガジン(No.240~252)により会員へ情報提供を行ったほか、Facebookによる情報発信サービスを行った。

3. 2 磁気研究の活性化に資する広報活動の強化

本学会が関連する分野の研究活動を活発にするため、各種会合、講演会、展示会などにおいて本学会の広報活動を強化した。ポスターや入会案内パンフレット等による会員入会勧誘を積極的に推進した。また学会パンフレットの改訂やメディアデータ(学会報まぐねへの広告勧誘用パンフレット)の整備も行った。

3. 3 ホームページの充実

本学会ホームページの構成を見直し、新ホームページへ移行した。スマホ・タブレット対応も含め、ユーザーの視認性や利便性を高めた。また英語化も推進した。

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰(定款4条4号)

令和元年度学会賞、業績賞、優秀研究賞、論文賞、学術奨励賞、学生講演賞、出版賞および学会活動貢献賞の表彰を、下記の通り行った。前年度より引き続き、学会賞および業績賞受賞者に対して、MSJフェロー称号の授与を行った。同制度は、学会へのこれまでの貢献に対して尊敬と感謝の意を示すと共に、授与された者がフェローもしくはライフフェローとして、引き続き学会活動に積極的に寄与することを促すことにより、学会の活性化を推進するものである。

学会賞、業績賞、優秀研究賞：中川活二委員長、論文賞、学術奨励賞、出版賞：小野輝男委員長、学生講演賞、技術功労賞：齋藤秀和委員長、学会活動貢献賞：齋藤秀和委員長、の体制でそれぞれ選考を担当した。

◎学会賞・フェロー

- ・高梨 弘毅 氏 (東北大学)
「規則合金を中心としたスピントロニクス材料の先進的研究」
- ・広沢 哲 氏 (物質・材料研究機構)
「希土類磁石および磁性材料に関する研究」

◎業績賞・フェロー

- ・山口 正洋 氏 (東北大学)
「高周波磁気工学に関する研究」
- ・井上 光輝 氏 (豊橋技術科学大学)
「人工磁気格子の基礎と応用に関する研究」

◎優秀研究賞

- ・谷山 智康 氏 (名古屋大学)
「界面マルチフェロイクスにおける磁性制御に関する研究」
- ・Hossein Sepehri Amin 氏 (物質・材料研究機構)
「高保磁力 Dy フリーネオジム磁石の開発指針の確立」
- ・梅津 理恵 氏 (東北大学)
「ハーフメタル型電子状態を有するホイスラー合金の相安定性と磁気特性」

◎論文賞

- ・N. Denis, S. Takeda, K. Fujitani, K. Fujisaki, and S. Odawara
「Anisotropic Magnetic Core for the Iron Loss Reduction of Permanent Magnet Synchronous Motor」
J. Magn. Soc. Jpn., **42**, pp.62-71 (2018).
- ・K. Oda, T. Moriyama, and T. Ono
「Magnetoresistance in Bilayers of Heavy Metal and Non-collinear Antiferromagnet」
J. Magn. Soc. Jpn., **43**, pp.1-5 (2019).
- ・S. Saito, H. Sato, K. Ooki, K. Akahane, and H. Uchida
「Near-Infrared Magneto-Refractive Effect for Antiferro-Magnetically Exchange Coupled Co/Ru Multilayer Film in Transmission Configuration」
J. Magn. Soc. Jpn., **43**, pp.25-28 (2019).

◎学術奨励賞（内山賞）

- ・清水 章弘 氏（東北大学）
「コラム状微細組織を有する L10 FePt グラニューラ媒体用粒界拡散を利用した網目状隆起下地層の提案」
日本磁気学会論文特集号 **3**, pp.7-11 (2019).
- ・芹澤 伽那 氏（中央大学）
「Magnetostriction Behaviors of Fe_{100-x}Cox Alloy Epitaxial Thin Films under Rotating Magnetic Field」
J. Magn. Soc. Jpn., **43**, pp.50-58 (2019).
- ・占部 諒 氏（九州工業大学）
「磁気駆動マイクロポンプを内蔵したノート P C 用液冷システムの試作と評価」
日本磁気学会論文特集号 **3**, pp.48-53 (2019).
- ・市川 優太 氏（東北大学）
「リラクタンスネットワーク解析に基づく巻線界磁型クローポールモータの回転子表面の渦電流損算定」
日本磁気学会論文特集号 **3**, pp.64-68 (2019).
- ・水穴 裕真 氏（東北大学）
「埋込磁石型磁気ギヤの性能向上に関する検討」
日本磁気学会論文特集号 **3**, pp.74-78 (2019).
- ・羽根 吉紀 氏（東北大学）
「LLG 方程式を用いた鉄心加工に伴う磁気特性変化の予測手法」
日本磁気学会論文特集号 **3**, pp.90-94 (2019).

◎学生講演賞（櫻井講演賞）

- ・蓬田 貴裕 氏（東北大学）
「熱間加工 Nd-Fe-B 磁石の微小領域の高感度磁化測定」
講演番号：第 42 回 学術講演会 14pC-4
- ・新堀 拓哉 氏（秋田大学）
「FeCo への VN 添加による正方晶構造の安定化と一軸磁気異方性」
講演番号：第 42 回 学術講演会 14pC-10
- ・鮎澤 祥史 氏（長野高専）
「正/負透磁率材料の積層伝送線路の表皮効果抑制に関する理論的検討」
講演番号：第 42 回 学術講演会 14pD-10
- ・佐藤 匠 氏（東北学院大学）
「FePt/Fe ナノコンポジット試料のポストアニールによる磁気特性と磁区構造観察」

講演番号：第 42 回 学術講演会 11pPS-8

- ・ 齊藤 豪太 氏 (東北学院大学)
「Sm(Fe,Co)12 薄膜の Co 添加による磁気特性の変化」
講演番号：第 42 回 学術講演会 12aPS-39
- ・ 山本 晃弘 氏 (慶応義塾大学)
「表面弾性波の不均一スピン依存散乱効果を用いたスピン流生成実験」
講演番号：第 42 回 学術講演会 11pPS-17
- ・ 原田 俊英 氏 (日本大学)
「有機金属分解法を用いたビスマス鉄ガーネット薄膜の作製および磁気表面プラズモン効果」
講演番号：第 42 回 学術講演会 12aPS-43
- ・ Q. Xiang 氏 (筑波大学)
「Large perpendicular magnetic anisotropy in Fe/MgAl₂O₄ heterostructures」
講演番号：第 42 回 学術講演会 13aD-1
- ・ 前田 哲哉 氏 (金沢大学)
「交流磁界がヒト肝がん細胞への抗がん剤作用に及ぼす影響評価」
講演番号：第 42 回 学術講演会 14aB-11

◎出版賞

- ・ 一ノ倉 理 氏、田島 克文 氏、中村 健二 氏、吉田 征弘 氏
書籍名/出版社：「磁気回路法によるモータの解析技術」(科学情報出版)
- ・ 三俣 千春 氏
書籍名/出版社：「磁気工学の解析法」(共立出版)

◎学会活動貢献賞

- ・ 神原 陽一 氏 (慶應義塾大学)、中田 勝之 氏 (TDK)
「企画委員会活動を通じた学会活動の活性化への貢献」
- ・ 塚本 新 氏 (日本大学)
「第 42 回日本磁気学会学術講演会開催への貢献」

5. 内外の関連学協会との連絡及び協力（定款4条5号）

下記の会合を協賛した。（開催日順）

- 1) ナノ学会第17回大会
かごしま県民交流センター
ナノ学会
2019年5月9日(木)～11日(土)
- 2) 第35回希土類討論会
大阪大学銀杏会館
日本希土類学会
2019年5月15日(水)～16日(木)
- 3) 第31回電磁力関連のダイナミクスシンポジウム(SEAD31)
東京工業大学すずかけ台キャンパス
日本機械学会
2019年5月22日(水)～24日(金)
- 4) 応用物理学会超伝導分科会第59回研究会
応物会館
応用物理学会 超伝導分科会
2019年6月17日(月)
- 5) 学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ 2019 (第13回)
東北大学川内北キャンパス
(特非)natural science
2019年7月14日(日)
- 6) 2019年度 J-PARC MLF 産業利用報告会
秋葉原コンベンションホール
J-PARC センター 他
2019年7月18日(木)～19日(金)
- 7) 2019年電気学会産業応用部門大会
長崎大学文教キャンパス
電気学会
2019年8月20日(火)～22日(木)
- 8) 第38次モータ技術フォーラム
日本能率協会 他
(一社)日本能率協会
2019年9月～2020年3月
- 9) 第3回 J-PARC 国際シンポジウム
つくば国際会議
J-PARC センター
2019年9月23日(月)～26日(木)
- 10) 第48回結晶成長国内会議 (JCCG-48)
大阪大学銀杏会館
日本結晶成長学会
2019年10月30日(水)～11月1日(金)
- 11) 日本希土類学会第37回講演会
崎陽軒本店会議室
日本希土類学会
2019年11月6日(水)
- 12) 2019年度学会連携出張リフレッシュ理科教室
松本市立安曇小中学校
応用物理学会 (北陸・信越支部)
2019年11月8日(金)
- 13) 第28回ポリマー材料フォーラム
ウイנקあいち
高分子学会
2019年11月21日(木)～22日(金)

- 14) 第22回ミレニアム・サイエンス・フォーラム
駐日英国大使館
ミレニアム・サイエンス・フォーラム
2019年11月22日(金)
- 15) RCJ 信頼性シンポジウム
太田区産業プラザ PIO
(一社)日本電子部品信頼センター
2019年11月27日(水)~26日(木)
- 16) 第25回日本磁気科学会 2019 分科会研究
日本大学理工学部駿河台校舎
日本磁気科学会
2019年12月2日(月)
- 17) 2019年度磁性流体講演会
名古屋工業大学大学会館
磁性流体研究連絡会
2019年12月5日(木)~6日(金)
- 18) 第1回世界エンジニアリングデイ記念シンポジウム
東京大学山上会館
(公社)日本工学会
2020年3月5日(木)
- 19) 2019年度ビームサイエンスフェスタ
ザ・ヒロサワシティ会館
高エネ研、J-PARC センター、CROSS 他
2020年3月12日(木)~14日(土)
- 20) IIP2020 情報・知能・精密機器部門講演会
東京電機大学東京千住キャンパス
(一社)日本機械学会
2020年3月26日(木)~27日(金)

II 処務の概要

1 会議

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日の間に下記の会議を開催した。

1) 総会

本年度は令和元年 6 月 17 日に通常総会を行い、以下の議案が審議され、原案通り可決された。議案として、定款の改訂、平成 30 年度事業報告、平成 30 年度収支決算報告、令和元年度事業計画、令和元年度収支予算、名誉会員の推薦、令和元年・2 年度役員の推薦についての議案が上程された。定款の改訂については、一昨年度に理事会で立ち上げた「委任状対策プロジェクト」にて、正会員に呼びかけを集中的に行った結果、必要な定足数に達し、審議を完了することができた。

2) 顧問会

顧問会を令和元年 9 月 27 日に開催した。

3) 理事会

下記期日に開催した。

令和元年 5 月 10 日、令和元年 7 月 24 日、令和元年 10 月 7 日、
令和元年 12 月 27 日、令和 2 年 3 月 23 日

4) 諸委員会

総務委員会 2 回、 財務委員会 1 回、 企画委員会 6 回
編集委員会 6 回、 広報委員会 1 回、 AUMS Council meeting 2 回
学会賞、業績賞、優秀研究賞選考委員会 1 回
論文賞、学術奨励賞（内山賞）選考委員会 1 回、
学生講演賞、新技術・新製品賞、学会活動貢献賞選考委員会 3 回（メール審議）
出版賞選考委員会 1 回

5) その他

名誉会員懇談会および賛助会員懇談会を令和元年 9 月 26 日に開催した。

賛助会員として学会を支えている企業のうち、令和元年 11 月 13 日に TDK 株式会社テクニカルセンターを訪問し、社風や業態などに関するインタビューを実施し、その内容を学会報まぐねに「賛助会員訪問記」として掲載した。賛助会員の貢献に対する本学会の謝意を表す活動として継続実施する。

また、賛助会員と会員をつなぐ活動の一助として、学会報まぐねの「新技術・新製品」コーナーへの投稿呼びかけも継続する。

本学会の財務状況の改善を目指し、財務委員会は予算執行状況に関する情報収集と分析を進めた。学会の支出と収入のバランスに関して、予算項目ごとに検討を行い、2020 年度予算案の立案に関して提言を行うなど、種々の取り組みを実施した。コロナウイルス関連で予算計画が大幅に狂うリスクが予想されるため、赤字縮小と収入増の方策を継続検討する。

2 契約に関する事項

◎契約案件一覧

契約年月日	相手方	契約の内容	期間
平成 28 年 3 月 26 日	韓国磁気学会	相互協力に関する合意	5 年
平成 29 年 4 月 1 日	学協会著作権協議会	複写に関わる権利委託	5 年
平成 29 年 12 月 2 日	台湾磁気技術協会	相互協力に関する合意	5 年
平成 31 年 4 月 1 日	学術情報学研究所	電子図書館サービス	1 年
平成 31 年 4 月 1 日	高垣公認会計士 税理士事務所	決算の監査	1 年
平成 30 年 4 月 1 日	Mr. Michael Gallagher	日本磁気学会誌英文、リライト	1 年
令和元年 5 月 23 日	(株)科学技術社	学会誌の広告に関する代理業務	1 年
令和元年 12 月 10 日	(株)国際文献印刷社	日本磁気学会誌印刷	1 年
平成 31 年 3 月 12 日	東京書庫(株)	文書の保管および運搬	1 年
令和元年 1 月 30 日	三菱地所リアル エステートサービス	東京 YWCA 会館 事務所の賃貸権	2 年
平成 31 年 1 月 1 日	IEEE	National Society Agreement	3 年
平成 31 年 1 月 1 日	IEEE Magnetics Society	Sister Society Agreement	3 年

3 会員の異動状況

会員種別	員 数		
	本年度末現在 (令和 2 年 3 月 3 1 日現在)	前年度末現在 (平成 3 1 年 3 月 3 1 日現在)	増減
正会員	1, 2 0 6	1, 2 5 7	- 5 1
賛助会員	6 7	7 2	- 5
学生会員	3 5 5	3 5 4	- 1
名誉会員	4 5	4 5	± 0